

事業報告

市民活動支援講座

実施日：6月26日(土)

「笑顔でゴールするための技術 ファシリテーション！」

ファシリテーションについて、あり方・やり方を学ぶのはもちろん、人と関わっていく上で、「いのち」が話している」という根底の部分、コミュニケーションが大事であると実感しました。

また、ファシリテーターだけでなく、一人一人が「聞く」「楽しむ」「認める」「思いやり」などの気持ちを持つてのぞむことも重要であると理解できました。



《参加者意見》

～オンライン～

- グループワークの前に、ファシリテーターのやり方や進め方、具体的な例をもっと知りたかった。
- 難しかったが、心構えが重要であることを知った。
- 実際のスキルをもっと知りたかった。第2弾を希望。

～会場～

- 前半は頭で考えてばかりでしたが、だんだんと変化が見えた。3人組のワークショップは、楽しかった。
- テーマ設定が良かった。楽しかった。
- まだファシリテーションの役割が実感としてわからないため、実際のワークショップがとても良かった。
- 時間がもっと必要だと思った。もっと聞きたかった。



《参加者》 オンライン10人 会場13人 計23人 《満足度》 オンライン2.6点 会場4.0点 (5点満点)

「福生をもっと知ろう! 語ろう!」 実施日：6月22日(火) 第4回委員会：7月13日(火) 第5回委員会 活動を広げよう!」 地域デビュー応援隊

第4回委員会は、前回(KAGAYAKI93号参照)を踏まえて、事前に委員の皆さんに意見や案を募って開催したところ、様々な課題やテーマが掲げられました。その中でも、コロナ禍で希薄になっている「繋がり」を重点として「すぐに取り組むことができるもの」「長期的に取り組んでいくもの」に分けながら進めていくこととなりました。

第5回委員会では、「すぐに取り組むことができるもの」のテーマについて、住民自らが進んで参加できる場所があり、尚且つ集いの場・活動の場となるような居場所を目指して議論しました。地域を歩きながら「まち」の魅力発信・発見できる「まち歩き」の開催や、現在ニーズがありコロナ禍でより一層必要性の高い「フードバンク」について住民向けの講座を開催していく案が出ました。まずは、概要を学びながら繋がりを育み、最終的に携われる方の地域デビューを計画していく予定です。



事業報告

輝き市民サポートセンター登録団体 活動紹介2021

実施日：7月17日(土)～18日(日)

7月17日(土) 来場者数 75人

7月18日(日) 来場者数 85人

参加団体

- NPO 法人海外に子ども用車椅子を送る会
- ふっさ・子どもの未来づくり応援団
- 特定非営利活動法人ヒューマンケア
- ガールスカウト東京都第191団
- ふっさマジック腹話術
- シニアあすなる
- ランプシェード
- 西多摩百景写真展実行委員会
- 男の台所
- FHMの会
- 花柳千衛里会
- ふっさ草笛サークル
- サポーター いち・にい・さん
- 倫理研究所「家庭倫理の会」福生支部
- 俳句会金木犀
- コープみらい みらいひろば福生
- SSS@福生
- 指定就労支援事業所 麦わら帽子
- 松林山の会
- ハイサイ!三線倶楽部

登録団体番号順

輝き市民サポートセンター登録団体 活動紹介2021

福生市輝き市民サポートセンターの登録団体が、日頃の活動を広く市民に知ってもらうことを目的として開催した活動紹介で、登録団体の活動に触れていただくことを目的とした事業として開催いたしました。参加団体の展示物は、本事業に向け長い期間をかけたそれぞれの団体の成果物あり、活動の成果が見て取れるものでした。

参加20団体による準備当日は、団体同士が活動の報告や今後の活動、展示品について和気あいあいと話す様子が印象的でした。

《参加者意見》

- 日頃の活動を発表できる場があってよかった。
- 何時も会えない他団体との情報交換ができて良かった。
- 活動の成果を見ていただくことは今後の励みとなる。
- 市民活動を市民の方に見ていただくとともに、自身の活動を再確認する良い機会だった。
- 時節柄よくぞ開催してくれた。
- 毎年の継続開催を希望する。
- センタースタッフが一丸となり支えてくれた。
- 活動紹介を企画、開催してくれた関係者に感謝する。
- センター内にも掲示したい。
- 他団体の方と話し、今後の活動のヒントとなった。
- 展示された成果物をカレンダーなどにして市民に告知してほしい。
- 登録団体の活動内容をもっと告知して欲しい。(市広報に掲載して欲しい)

*皆様からのご意見を活かしたサポートが出来る様検討したいと思います。

